

こどもデイサービス ウルル



認知・行動

- * 物の機能や形・色・空間・時間などの認知の形成
- * 指示理解と行動
- * 強い拘りなどに対し、認知の偏りを予防
- * 適切な行動の形成

遊びや活動の中から繋げていきます

運動・感覚

- * 運動療育 体幹を鍛える
- * 日常生活に必要な動作の習得
- * 姿勢や運動・動作の向上
- * 力加減や距離感等感覚のコントロール

運動療育では、先生の動きの真似を繰り返す中で、相手に合わせる力を高めていきます

家族支援

- * 保護者や兄弟姉妹との関わり、家庭での困りごとなどの相談援助

将来に向けて

- * 個別の訓練
- * お仕事体験
- * 卒業後のボランティア活動

生きる力を育てる療育

ウルルの5領域

健康・生活

- * 生活リズムを整える
- * 自分の健康状態を知り、自ら体調の調整ができるようになる
- * 生活に必要な基本的技能の獲得や向上を目指します
- * 身辺自立
- * 体験型食育活動への参加

個々に合わせて身体と心の安定を目指していきます

言語・コミュニケーション

- * 自分の気持ちを表現する・伝える力の向上を目指します
- * 読み書き能力の向上
- * 他者との適切なコミュニケーション方法の習得
- * 個別対応の習字体験

活動や遊びの中から、伝える力を高めていきます

人間関係・社会性

- * 人との関わり（人間関係）の形成
- * 社会のルールやマナーの習得
- * 場に応じた適切な行動へ結ぶ SST

遊びや活動の中から深めていきます

こどもデイサービス ウルルでは、生きる力を育てる療育を目指しています。社会で自分らしい生活が送れることを目指し、多くの経験が強みとなるようにサポートしていきます。



事業所名

こどもデイサービス ウルル

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

25 日

| | | | | | |
|-----------|---|--|--|--|-------|
| 法人（事業所）理念 | | ○生きる喜びや自ら学ぶ喜びを体験する ○創造的で心豊かな人間関係を築く ○未来を担う若者を育て、社会に貢献する -だれでも自分らしく幸せに生きていくことを願って活動しています- | | | |
| 支援方針 | | 将来経験不足が原因で困りごとが増えないよう、多くの経験を積み重ね自己肯定感を高め自立を目指していきます。 個別、グループ活動での支援を実施し、生活能力の向上に必要な支援を行います。 ご家族への相談援助や関係機関との連携を実施し、児童及びご家族のサポートをしていきます。 | | | |
| 営業時間 | | 放課後 10 時 から 18 時 まで | 送迎実施の有無 | | あり なし |
| | | 学校休暇日 8 時 30 分から 16 時 30 分まで | | | |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ○心身の健康状態の把握 ・保護者との情報共有（電話やメール等活用し、利用前後の気になる情報を共有していきます）・受け入れ時の心身をはじめ支援中の健康観察を実施します・本人自身が心身や健康状態を自ら認識し休憩をとったり訴えることができるようにサポートしていきます。 ○身辺自立についての支援 ・食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能の獲得や向上を目指します・基本的な生活リズムを身に付け、安全な生活を子供自身が送れるように自立を目指していきます。 | | | |
| | 運動・感覚 | ○姿勢や運動・動作の向上 ・身体能力の向上や運動機能の発達を促し、日常生活に必要な動作の基本を身につけます。 ○運動療育の実施、体幹を強くする ・体幹を鍛えることで、自分の身体感覚をつかむ。相手との距離感の感覚、力加減の感覚、距離感や力加減のコントロールする力の向上を目指します・体幹を鍛えることを取り入れた活動や遊びを通し、身体のバランスや指先の動作や感覚をつかんでいきます。 | | | |
| | 認知・行動 | ○認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ・活動や遊びの中から、物の機能や属性、形、色に変化する様子、空間、時間等の認知の形成を支援します。 ・適切な行動の形成、認知の偏りへの配慮をします・強いこだわりなどに対し、認知の偏りや予防を行う。 | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ○コミュニケーションの基礎的能力の獲得・向上 ・言葉の表出や理解の幅を広げると共に、他者との適切なコミュニケーション方法を学ぶ支援を行います。自分の気持ちを表現する、伝える力を高めていきます。 ○読み書き能力の向上 ・個別活動を通して、読み書き能力の向上のための支援を行います。 | | | |
| | 人間関係 社会性 | ○人との関わり（人間関係）の形成 ・グループ活動、個別活動、SSTなど他者との関わりを通して、他者の気持ちや場に応じた適切な行動ができるよう支援を行います。 ○社会性の向上 ・他者とのやり取りや社会的な場面でルール・マナーを学び、社会性を高めます。 ○運動療育を通し、相手に自身が合わせる力を高め、集団行動ができるように支援を行います。 | | | |
| 家族支援 | 送迎時の会話など随時情報共有するとともに、必要に応じて電話相談事業所面談・相談する場を設けてご家族の不安や困りごとへの相談援助を行います。 | 移行支援 | 学校や関係の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的な支援を行えるよう環境づくりを行っていく。また学童やファミリーサポートとの連携や情報共有に力を入れていきます。 | | |
| 地域支援・地域連携 | サッカー教室への参加・公共施設や公園を使用する際、地域の場や地域の人と触れあう機会を提供する。地域生活に関する障害福祉サービス事業所等との連携を行います。 | 職員の質の向上 | 事業所内研修（事例検討・利用者理解/虐待防止/事故防止/感染予防/防災）や会議の実施。障害理解に繋がる資格取得等 | | |
| 主な行事等 | 夏祭り・クリスマス会・節分・ハロウィン・お楽しみ会・卒業パーティー・ミカン狩り・ブルーベリー狩り等、季節に合わせてイベントを実施しています・ | | | | |